へ13
3730
9

へ13
3730
10

へ 13
3730
9

門 へ13
3730
9

竹取空穂伊勢大和諸の物語皆往昔の讀本也更おもしろく書るふあく絵ど今のごとく際々〜く人名のゝこゞ年號月日細密ゆゑ記されば男も女も百官名源氏ゑ

惟光良清其外ゆゑ人名知るゆゑ加之昔の俗語も今より見れば雅文ゆゑ耳遠ゆゑ

主と読くゆゑ十ゆゑ十人朧月夜ゆゑ梅看るゆゑ物ごゝの對面ゆゑ分解ゆゑ不會得文義熟

譯する事かたしかれば長の年月の間でゞ何処で歳ゞ豆春ゆゑ年表とさえ書ゆゑ錯

人の年齢なと勘ゆの合ゆれゆ思ひ違ひたるも有と見過て改るに憚とゆるれとのゝど今更

ゆゑ面白ゆゑ朱雀院ゆ擬へ義尚公を三四編ゆ當時の武將と記て濱昌と書ゆゑ

ゆゑ義植公ゆゑ有けゝふと義尚とゆゑも實ゆゑ作の粗忽ゆゑ真木柱と梅枝の

間ゆ一年たつと云れ極樂寺の法會とゆ小毬の一周忌とゆゑ此編

ゆ真木柱ゆ説脱せゆゑ補ゆ例の狂言所ゆゑ加へ藤裏葉の遺を拾て次編ゆ弥上の若菜唐

土の鳥のトンく拍子ゆ智慧の袋の底をたゝそ初春の御慶ゆと共ゆ松の内より販出ゆゑ

嘉永二年酉新刊

一竹取主人 筆

部第五編

酉

規春

人間万事

五編 上冊

ひろう
ひろの
影

一蓬斎作
豊国画

錦林仙鶴二書房梓

拾芥抄上云「和琴　宇多法師
寛平法皇貴重のあまり此名あり云云
ものと和琴を乞と　和琴いとこゝろふかく
なつかしきあふぎをあはれびとあかつき
とゝ先師の作用なり

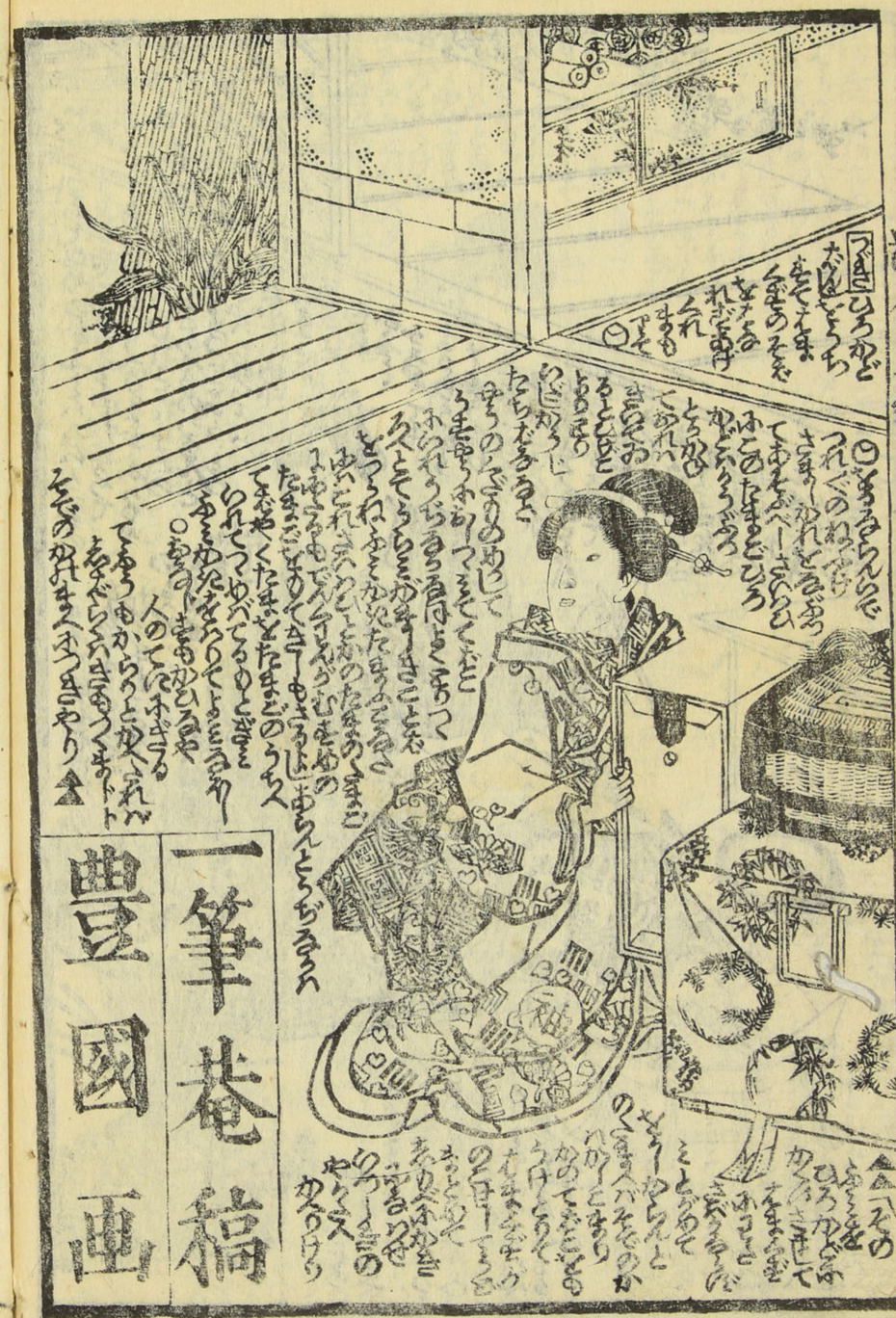
六條御所
清あそびの圖

よのつねの
和琴とやこゝる
いとゝしの
あるはひろる
意のあり
城

待合

四

袖



一筆巻稿
豊國画

湖月百人一首撰集　源氏絵尽　女今川入

繪本名頭武者部類　前北斎画　全

源氏絵尽中本　全

葉玉百人一首

女用玉結　大本一冊

蘭山先生著

源氏百人一首小倉抄

鶴賀新内正本所

和泉屋市兵衛

へ 13
3730
10

門 へ13
號 3730
巻 10

己酉新彫

一筆庵作

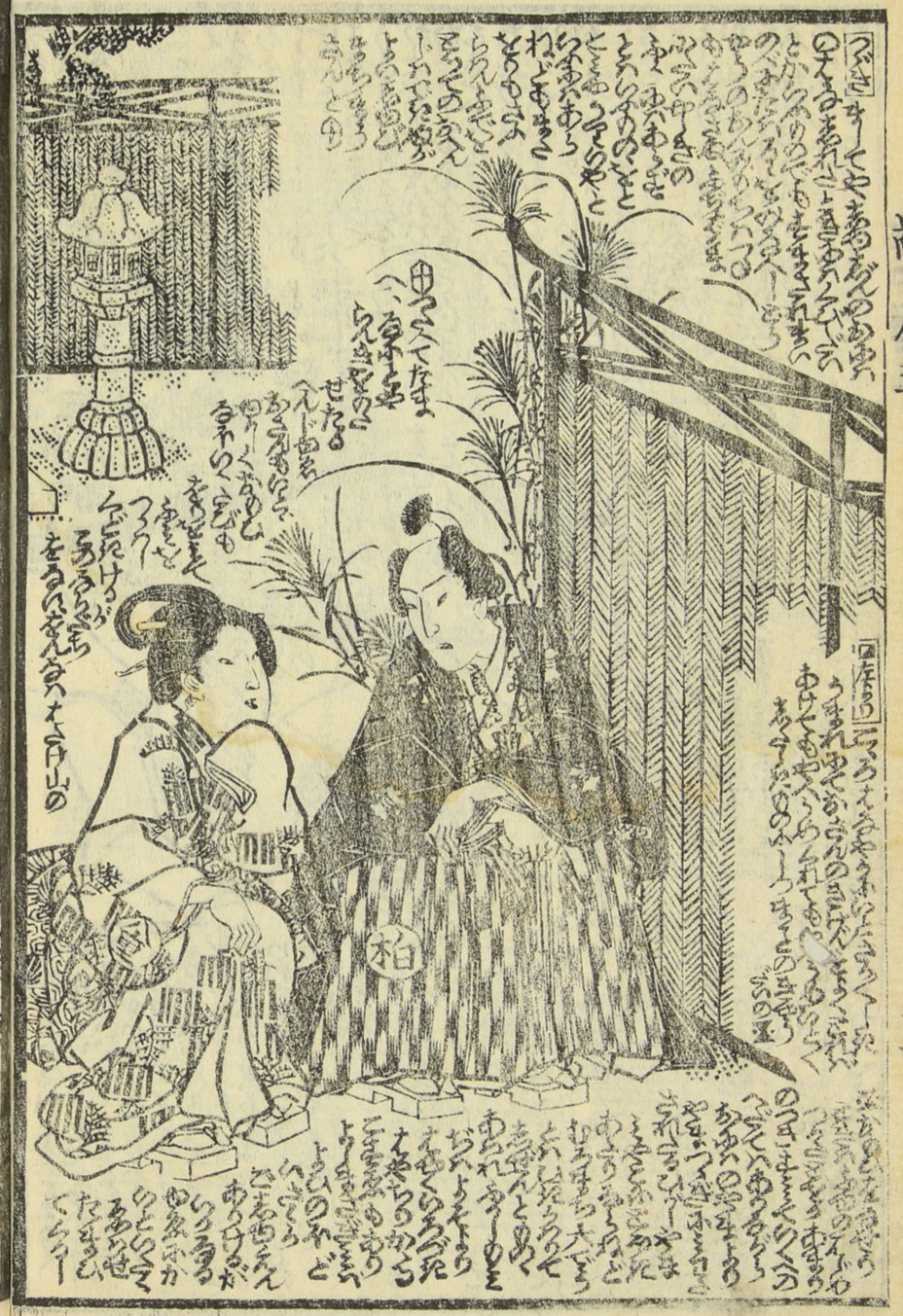
鄙の面影

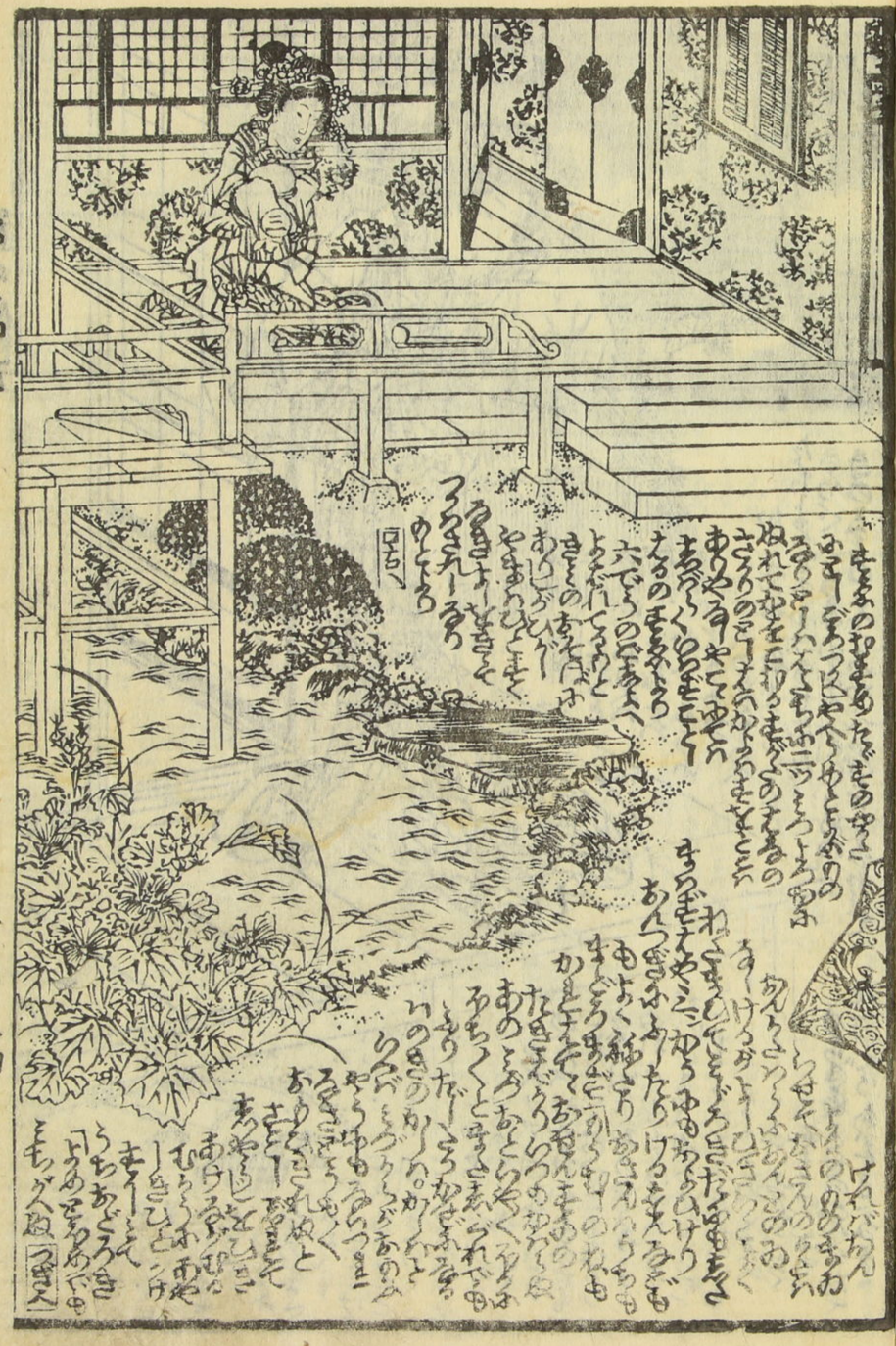
五編下

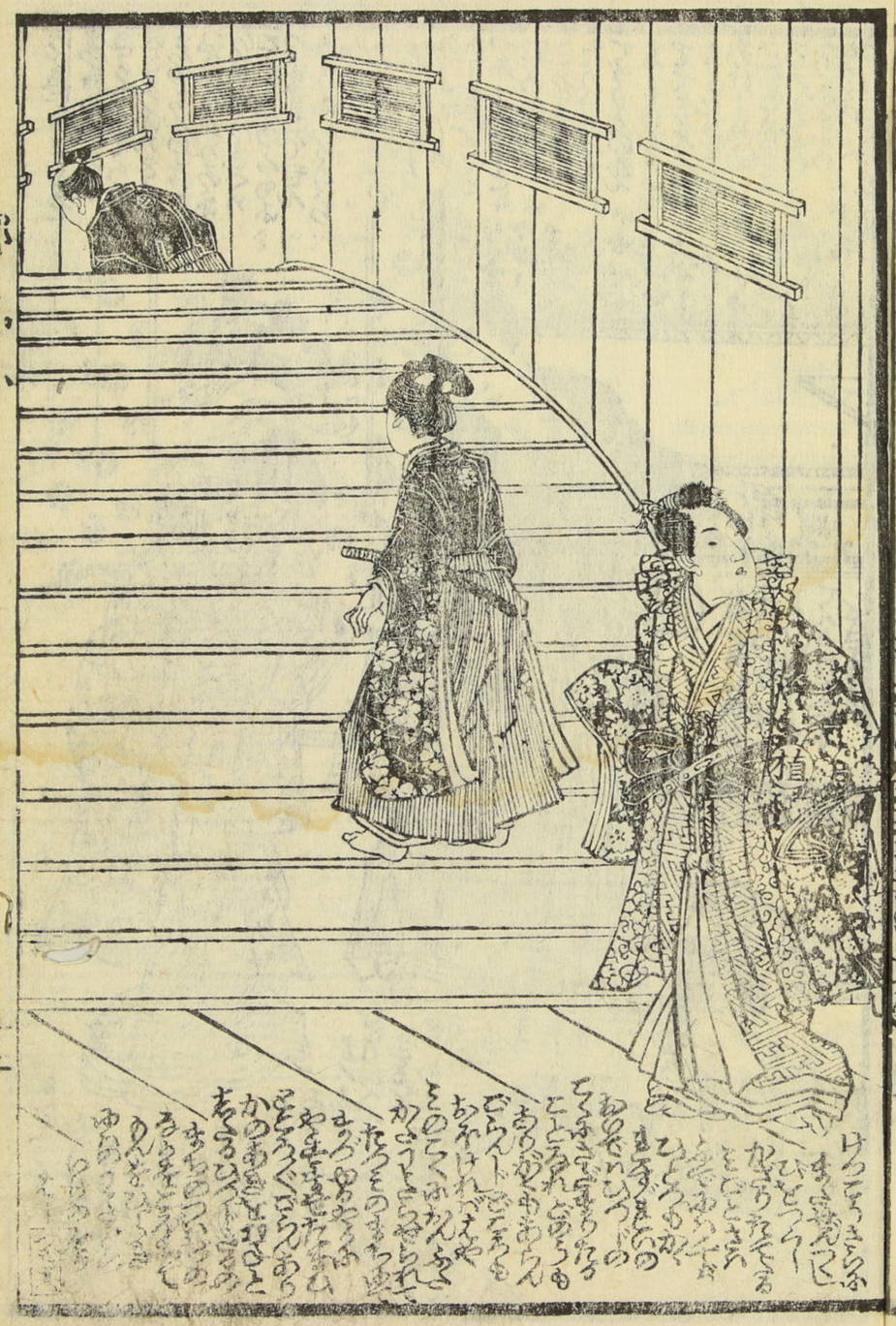
錦林
仙鶴兩舗
合刻

豊国画

富微の前







豐國画 一筆十莽稿

嘉永二巳酉年孟春新板目録

勸善懲悪 其紫鄙迺俤 四編一筆莽主人作 出版一陽齋豐國画

同 五編六編 引續同 出版同 作画

勸善懲悪 乘合噺 六編柳下亭種員作 出版一陽齋豐國画

同 七編八編 引續同 出版同 作画

業平源太東下り 関東小六都上り 旅硯街道日記 全六冊柳下亭種員作 近刻一勇齋國芳画

美玉みがき香 一包代三十二銅 別製 薬玉みがき 一包代十六銅 江戸室町二丁目 塗物本屋九兵衛

版 神田鍛冶町二丁目 元 太田屋佐吉